

## 校長式辞（抜粋）

春の日差しが降り注ぐ、今日、令和6年度香川県立農業大学校の入学式を農政水産部長様、琴平町教育委員会森井様や実習、校外活動など様々な御支援を頂いております関係各位の御臨席をいただき、このように盛大に挙行できますことは誠に喜びに堪えないところでございます。

ただ今、入学を許可した担い手養成科33名の皆さん、技術研修科6名の皆さん、御入学を我々教職員一同、在校生とともに歓迎し、心よりお喜びいたしたいと思っております。また、これまで皆さんを支えてこられた御家族や御関係者の皆様にも心よりお喜びを申し上げます。

さて、本校は昭和52年の開校以来、農場での生産活動を基本として、校内で専門性に富んだ講師陣による講義や演習に加えて、先進農家や試験研究機関での研修や実習を数多く取り入れ「新しい農業の担い手」と「農業・農村を牽引することができるリーダーとなる人材の育成」を目標としています。

今、香川県においても、第1産業の担い手育成は大変重要な課題であります。農林業は資源とエネルギーを生み出す創造産業であり、人生を生きていくための基本的な環境を整えるという大きな役割を社会から期待されています。どうか自信と誇りを持ってこれからの学生生活、研修生生活を送ってほしいと思っております。

また、県内、国内だけではなく、世界の状況や地球環境はまさに激動の時代とされています。この変化の中を生き抜くために、皆さんは「自分をしっかりと見つめて成長に努めること」、「他人と協調していくこと」が求められています。

私からも「思いやりと責任感を持って周りの人と関わること」をお願いしたいと思います。

ここでの学生生活は2年間、研修生生活はさらに短い1年間です。担い手養成科の皆さんは、早いうちに将来の目標をしっかりと決め、その目標を達成するためには、何をすべきかを自分の頭でよく考えてほしいと思っております。また、どんなことにもチャレンジしていく前向きな姿勢を常に持ち続けてください。

技術研修科の皆さんは様々な経歴をお持ちではありますが、それぞれ明確な目標を持って、新しく農業に挑戦するための知識や技術習得に積極的に取り組んでいただき、所期の目的を達成されることを期待しております。

どうか大いなる「夢と希望」を持って、これからの1日1日を明るく・楽しく・元気に過ごされ、有意義な大学校生活を送られるよう祈願して私の式辞といたします。

ご入学ご入校誠にありがとうございます。